



☆会長あいさつ☆

今年度の体育会は、開催される当日まで台風の接近に伴っての降雨予報でした。しかしながら、生徒達、保護者の皆さまの願いが通じて、雨粒1つ降らず無事に開催されました。「雲外蒼天〜はばたけ西中〜」のスローガンのもと、各クラス一丸となったりレー競技や生徒全員での集団演技も、日頃の練習の成果を存分に発揮し、迫力満点の演技でした。また、PTA競技では、たくさんのご参加・ご協力ありがとうございました。今年度の反省点を改善し、来年はさらに盛り上がる競技にしたいと思います。最後になりましたが、体育会終了後のパイプ椅子の片づけなどのご協力も本当にありがとうございました。

次は文化祭です。今年度は「創立40周年記念式典・文化祭」となっています。仲間たちとの美しいハーモニー、生徒一人ひとりの作品、舞台鑑賞もとても楽しみです。

☆校長先生のお話☆

9月最初の快晴だった3連休明け(9月17日)に本校の体育会予定日である21日からの3連休の週間天気予報を見て愕然としました。3日間とも80%前後の降水確率だったからです。1週間前倒して体育会を開催すればよかったと悔やまれてなりません。体育会前日の20日になっても3連休の降水確率はあまり下がらず、絶望感にさいなまれながら迎えた当日。青空こそ拝むことはできませんでしたが、最後まで1滴の雨も降らずに予定通りプログラムをこなし、感動的な体育会になったことを心から嬉しく思いました。

PTAの皆様には、温かい声援をはじめ、飲み物の差し入れ、PTA演技への参加、パイプ椅子の片づけなど、ご協力いただきありがとうございました。

10月19日には音楽コンクール・文化祭が予定されています。今年度は、ささやかではありますが、西落合中学校創立40周年の記念式典も行う予定です。多数のご来校をお待ちしております。

☆主な行事予定☆



10/19(土)	文化祭
10/21(月)	代休
10/29(火)	3年実力テスト
11/ 8(金)	3年進路保護者会
11/11(月)~15(金)	2年トライやる・ウィーク
11/18(月)・19(火)	学校公開
11/27(水)~29(金)	期末テスト

次回運営委員会 11月13日(水) 17:00~

☆各学年の様子☆

【1年生】 初めての体育会に1年生らしく元気よく取り組みました。集団演技の最初の練習で、上級生の圧倒的なパワーに衝撃を受けました。後れを取らないように必死に練習に励みました。入場行進も練習の成果を発揮できました。音楽コンクールに向けてクラスで一丸となり、きれいなハーモニーを響かせられるように頑張りますので、ご声援よろしくお願いたします。

【2年生】 体育会では、学年演技「f f (フォルテッシモ) ～より強く～」の名の通り、40回生らしい力強さを存分に見せることができました。また、「ジャンプ頂上決戦」では、各クラスの団結力が見事に発揮されました。集団演技「雲外蒼天」では、39回生を支える姿が素晴らしかったです。次は音楽コンクールに文化祭。体育会で培ったクラス・学年の団結力に期待してください。

【3年生】 体育会も無事に終わり、39回生も最高学年としての責任を十分に果たし、心に残る感動体験ができたと思います。10月もまた、音楽コンクールと文化祭があります。文化祭の舞台、展示物づくりのボランティアを募ったところ、たくさんの生徒が参加してくれました。文化祭でも、39回生が一丸となって、地域や保護者の皆様へ感動を届けたいと思いますので、ご声援よろしくお願いたします。

専門部からの報告

【文化部】 制服リユースのご案内

- ・10/19(土) 文化祭当日 8:45～9:20 東校舎1階 ふれあいルーム
 - * サイズ不明の品も多いため、お子様のサイズを確認してお越してください。
 - * リユース品を持ち帰るためのエコバッグをご持参ください。
- ・常時、リユース受付BOXを玄関に設置しております。
 - * 制服、体操服等は自宅での洗濯でかまいません。数が不足していますので、ご協力お願致します。

【愛護部】 10/1(火)に挨拶運動を行いました。次回は11/1(金)です。引き続きご協力をお願いします。

【全学年】 11/18(月)・19(火)は学校公開デーとなっております。受付のお手伝いをお願いする方には、お子様を通じてお手紙をお渡ししています。日時をご確認の上、ご来校くださいますようお願いいたします。

【3年生】 11/8(金) 進路保護者会で卒業記念品代(1人1,000円)を集める予定です。
* 案内書は文化祭終了後に配布する予定です。

音楽コンクール・文化祭について

- ・「ひとり一役運動」で文化祭のパイプいす片づけに応募された方は、ご協力よろしくお願いたします。
- ・当日は多数の方が来校されるため、席取り、携帯電話・スマートフォンの使用、ビデオ撮影はマナーを守っていただきますよう、お願いたします。

～陶芸販売をします!～

文化祭にて仲よし学級の生徒が制作した陶芸品を販売します。素敵な作品が多数出展されます。ぜひ、お越してください。(購入の際は小銭をご用意ください)

11:15～12:15、15:00～16:00 北校舎3階フロアー



校長の独り言

「クライマックスシリーズに思う」

ラスト6試合を連勝しクライマックスシリーズ出場権利を得た阪神タイガース。3位広島とのゲーム差をなかなか詰められずに何度もやきもきさせられ、諦めかけたら大逆転での3位入賞。「阪神ファンは気長な性格でない」と務まらんわ。」と痛感させられた今年のペナントレースであった。

もちろん阪神ファンであるから、我ら阪神タイガースがクライマックスシリーズに出場することが嬉しい訳ではないが、どうも素直に喜べない。もし、このまま快進撃を続け、DeNAを破り、憎きジャイアンツに勝とうとも、果たして素直に喜べるのか甚だ疑問に思うのだ。ペナントレースで1~2ゲーム差で負けた球団が、ハンディキャップを乗り越え、クライマックスシリーズで上位球団を負かして日本シリーズに出場するのならまだしも、5ゲーム以上も差がある上位球団にクライマックスシリーズで勝ったからといって大きな顔をして日本シリーズに出場できるのは、どう考えても納得ができない。いったいペナントレースは何だったのだということになると思うのだ。

もちろんこのクライマックスシリーズ制度が、最後までペナントレースをおもしろくする方法であり、各球団の収益増に大きくつながっていることは間違いないであろうが、その反面、日本シリーズで勝つことの値打ちを半減させてしまっているのも事実であろう。私はこのクライマックスシリーズの制度ができてから日本シリーズの結果にあまり興味を持たなくなってしまうし、どの球団がその年の日本一になったのかも記憶にあまり残らなくなったような気がする。野球をしている当人たちはどうなのであろうか。たとえ何ゲーム差離れていようとルールはルール。クライマックスシリーズで上位球団を負かして日本シリーズに出場できれば、歓喜の涙を流し、胸上げし、ビールかけをして純粋に喜ぶのであろうか？選手たちに聞いてみたい気持ちだ。

このPTA 便りがご家庭に届く頃には、クライマックスシリーズも決着がついていることであろう。もし、阪神が日本シリーズの出場権を獲得していたら、こんなことを書いたことも忘れ、あかんたれ阪神をまた応援してしまっているのかなあ・・・。



■なぜこんなにも虐待、いじめ、ハラスメントのニュースが多いのでしょうか

悲しくなったり、目を覆いたくなったりするニュースが多く、気持ちが暗くなります。

30年近く神戸大学で「教育心理学」や「発達心理学」を教えてきました。赤ちゃんは多くの奇跡とお母様の大変さの中でようやく生まれてくることを伝えてきました。カウンセラーや教師を志望する学生には本当の共感の意味を教え、人の一生を左右する対人援助職の責任の重さを伝えてきました。いじめには形だけの反省や謝罪ではなく、被害者に絶対的安全を保障し、心の傷と一緒に向き合うこと、加害者にはなぜそうせざるを得なかったかと一緒に向き合うことを伝えてきました。ハラスメント相談も20年以上してきましたが、相談がなかった年は1年もありませんでした。



■人には「自分は優れた人間である」と思いたい気持ちがあります

この気持ちはあって当然ですし、その人の自己肯定感を維持するには必要です。ただ、問題はその方法です。何か自分の得意なことがあって、英検で〇級に合格した、〇〇で県大会に出場した、〇〇でほめられたなど、自分の努力が評価され、他人より秀でれば、そうした気持ちになれるかもしれません。もしそうしたものがないときはどうしたらいいのでしょうか？その時によく使う方法は他人を自分より劣った存在にすることです。たとえば、スポーツが得意でない人を蔑む、あまり自己主張ができない人に凄みをきかせて、威張り散らすといったことがあるかもしれません。そうすれば、自分の努力なしに自己肯定感を維持できることとなります。

■大人や年長者は躰や指導という隠れ蓑を使うことができます

もう一つの方法が躰や指導です。体罰がいけないこと、どなる、すごむといったことばも暴力であることは周知の通りです。ただ、「この子のため」「この後輩のため」に厳しい躰や指導が必要なんだという正当化がまだまかり通っているようです。結愛ちゃん事件の裁判での被疑者の証言を聞くと、悲しみと怒りがこみ上げてきます。と同時に、被疑者をこうさせてしまったのはなぜなのだろうかと思わざるをえません。かりに最初は「この子のため」「この後輩のため」であっても、うまくいかなければ怒りが湧き、敵意が生まれますし、逆に自分の思い通りになれば、いつのまにか脳の報酬系が働き、自分のストレス発散や楽しみの手段になってしまいます。



いじめも虐待もハラスメントも相手に非を見つけることで、加害行為を正当化するのが常套手段です。これ以上悲しい事件を増やさないためにも大人自身が、特に私たち対人援助職者は自分の弱みをしっかり見つめ、それを弱者に転嫁しないことが大切だと思います。

本日以降の1ヶ月は、10月は17日(午前のみ)、24日、31日、11月7日、14日に相談をお受けします。お電話の事前予約は教頭(078-791-8444)に、当日予約はS C (090-8379-3709)に、メールは事前当日予約とも nishiochiai_sc@yahoo.co.jp にお願いします。

